

「マルチステークホルダー方針」

当社グループは、10年後のありたい姿として、長期的な企業価値向上に向けた経営ビジョン「Next10(2030)」を定めました。株主、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとするマルチステークホルダーとの適切な協働に取組み、「要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー」を目指してまいります。経営ビジョン「Next10(2030)」を通じて生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことで、経営理念に掲げております「地域社会への貢献」を実現できるという観点から、従業員への還元、取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、グループ理念をもとに、ステークホルダーや社会にとってかけがえのない存在であり続けることを目指し、持続的な成長と付加価値の最大化に注力します。この実現のためには、従業員のエンゲージメント向上や生産性向上が必要であるとの認識のもと、人材投資に積極的に取組みます。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを含む、有形無形の従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、毎年の定期昇給に加えて、取り巻く経済環境や収益状況といった内外の環境を踏まえた賃金の引上げや、インターンシップ活動の充実や入社後のフォローアップ研修、キャリアプラン形成のサポートなど人材の確保・育成における取組を進めております。また、従業員一人ひとりが、変化や成長を前向きに捉えて自走し、会社とともに成長できる環境づくりとして、イノベーション、次世代育成、生産性向上に資する人材の育成に沿ったそれぞれの教育・研修体系の構築等を行い、働き甲斐の高い組織・風土づくりに取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2022年9月20日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/17141-05-08-kagawa.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は「社会から信頼される企業」であり続けるために、事業を通じて、社会との共生を念頭に企業の成長を目指します。変化する社会環境の中でESGを重視した事業運営を行うことで、社会の持続的な発展と中長期的な企業価値の向上を実現します。また気候変動対策をはじめとする地球環境問題に積極的に取組み、その情報を開示するとともに、ステークホルダーとの対話を進めてまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組みを進めてまいります。

以上

令和6年1月16日

大倉工業株式会社

法人名

代表取締役社長執行役員 神田 進

役職・氏名（代表権を有する者）